

令和5年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
392014_高知市	①学校運営上の課題	教職員の時間外勤務の是正	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働活動を行う際の教員の負担感・多忙感が課題となっている。 ・市内の教員の約34.5%が、月45時間以上の時間外勤務を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域とつながりのある社会福祉協議会、地域防災推進課、地域コミュニティ推進課など高知市役所の関係課と連携をとりながら、地域学校協働活動推進員を中心とした、地域協働活動の推進と教員の負担感の軽減を同時に行える体制づくりの支援を行う。 ・関係課との小学校区ごとの連絡会を行う。(小学校区ごとに学期に1回以上) ・全学校を訪問し、負担軽減につながった好事例を紹介する。 	学校、家庭、地域、行政への学校運営協議会や地域学校協働活動推進員など制度の周知・理解により、地域との協働が進み、教員の業務負担が軽減する。	月45時間以上の時間外勤務を行う教員の割合	35	%	34	34.5	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、地域、保護者向けの研修を年3回行ったことや小中連携研修を市長部局と連携して実施することで、学校、家庭、地域、行政への制度の周知ができた。 ・高知市社会福祉協議会と連携を行い、いくつかの中学校で生徒会執行部と地域住民が地域課題や学校課題について協議を行う場を持ち、生徒会執行部と地域住民が主体となった地域活動を行うことができた。また、活動の連絡調整などを高知市社会福祉協議会の地域福祉コーディネーターが行うことで、教員の負担軽減につながった。 ・地域学校協働活動推進員の活動によって、地域との連絡・調整や登下校の見守り、学習活動の支援などが行われ、教員の業務負担軽減につながっているが、まだ目標を達成至っていないので、今後も引き続き、制度の周知や地域学校協働活動の支援を行う。

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。